

20年ぶりの日本一に王手

12日(日)13時から決勝戦

—全日本大学野球選手権—

2勝して準決勝にコマを進めた母校は、11日(土)、東日本国際大学(南東北大学リーグ、福島県いわき市)と対戦し、3対1で勝利、12日(日)に行われる決勝戦で上武大学(関甲新学生リーグ、群馬県伊勢崎市)と対戦することになりました。勝てば、平成14年(2000年)以来20年ぶり、通算5回目の日本一となります。**決勝戦はNHK BS1で試合開始の午後1時から中継されます。**

準決勝は、藤江亮太選手(経営4年・享栄高卒)が全打点を挙げる大活躍をみせました。1回にはレフトスタンドへのホームランで先制、2回にホームランで同点とされると3回と7回にはいずれも藤江選手がレフトへの犠飛で1点ずつを入れました。守っては、エースの青山投手を温存しての投手リレーで2点差を守りました。

決勝戦は、12日(日)の13時から神宮球場で行われます。相手となる上武大学とは、平成25年(2013年)に決勝戦で対戦し、1点差の5対6で敗れています。